

「新物質・新材料研究会」

令和6年度第1回プログラム

令和6年7月23日（火）午後3時 ハイブリッド開催

京都大学桂キャンパス 化学系講義室（A2-306）

「多数の金属を含む分子：自然界に学ぶ設計・合成と触媒利用」

京都大学化学研究所 教授 大木 靖弘

窒素固定や炭素固定に代表される自然界の多電子還元反応は、多数の金属原子を含むクラスター錯体が触媒している。本セミナーでは、自然界の特異なクラスター錯体の構造と機能の関係に仮説を立てて人工分子を合成し、機能開発を目指す我々の取り組みを中心に紹介したい。

「田岡化学のケミストリーと志向するマーケット」

田岡化学工業株式会社研究所

NEXT 事業開発・IP 戦略部 部長 世古 信三

住友化学グループの中堅化学メーカーとして展開する田岡化学の製品を概観するとともに、シュリンクする国内市場や不安定な海外市場にどのような技術で対応していくか、決して成功談ではなく現実にもがき苦しむ苦難などに関しても率直にご紹介しながら、化学の楽しさをお話したい。

令和6年度第2回（予定）

令和7年1月21日（火） 午後3時

京都大学桂キャンパス